

(別紙)

令和6年度(令和5年度からの繰越分)障害福祉分野のロボット等導入支援事業
(施設等に対する導入支援) 事業報告書

※導入機器ごとの効果や目的等を把握するため、導入機器ごとにそれぞれ作成をしてください。(一体的に利用している機器を除く)

自治体名 埼玉県

【基本情報】

フリガナ	シャカイフクシホウジンジュウゼンカイ
法人名	社会福祉法人十善会
フリガナ	サカドリョウゴエン
事業所名	さかど療護園
施設・事業所種別(指定を複数受けている場合は、補助上限額を適用する施設・事業所を選択)	
障害者支援施設	
職員数(常勤換算数)【「従事者の1ヶ月の勤務時間」/「事業所等が定めている、常勤の従事者が勤務すべき1週間の時間数 × 4(週)」にて算出(産休・育休・休職は除く)】	
33.9 人	

(1) 主な導入機器内容(種別・機器名等)

機器の種別: ☐ 移乗介護 ☐ 排泄支援 ☐ 入浴支援
☐ 移動支援 ☒ 見守り・コミュニケーション

機器名(導入台数) 介護用ベッド エス/パシアシリーズKA-N1411J (5台)

(2) ロボット機器等導入前の定量的指標及びロボット機器等導入後の定量的指標

① ロボット機器等導入前の業務時間内訳

業務内容		A.業務従事者数	発生件数		D. 1件当たりの 平均処理時間(分)	人時間 E (A×C×D)	1人あたり 業務時間 (G×D/A)
			B.ひと月当たり	C.年間発生件数(B×12)			
直接介護	1 移動・移乗・体位変換			0 件		0 人時間	#DIV/0!
	2 排泄介助・支援			0 件		0 人時間	#DIV/0!
	3 生活自立支援(※1)			0 件		0 人時間	#DIV/0!
	4 行動上の問題への対応(※2)			0 件		0 人時間	#DIV/0!
	5 その他の直接介護			0 件		0 人時間	#DIV/0!
間接業務	6 巡回・移動	2 人	243 件	2,916 件	14 分	1,361 人時間	340 時間
	7 記録・文書作成・連絡調整等(※3)			0 件		0 人時間	#DIV/0!
	8 見守り機器の使用・確認			0 件		0 人時間	#DIV/0!
	9 その他の間接業務	2 人	2,190 件	26,280 件	6 分	5,256 人時間	1,314 時間
			2,433 件	29,196 件	20 分	6,617 人時間	#DIV/0!

※1 入眠起床支援、利用者とのコミュニケーション、訴えの把握、日常生活の支援

※2 徘徊、不潔行為、昼夜逆転等に対する対応等

※3 利用者に関する記録等の作成、勤務票等の作成、申し送り、文書検索等

以下の※1及び※2については、ロボット機器等導入前の実際の業務状況に即した算出をお願いします。

<※1>B. ひと月当たり発生件数の算出方法

6.夜間の巡回回数(1日当たり)8回 × 365日 ÷ 12ヶ月 = 243.3…件
9.夜間不意に離床してしまう利用者の人数(1日当たり)9人 × 巡回の回数8回 × 365日 ÷ 12ヶ月 = 2,190件

<※2>D. 1件当たりの平均処理時間の算出方法

6.夜勤職員が、1回の巡回に要する平均時間であり、巡回時には利用者の寝息や開眼の有無、転落の有無等に注意しながら巡回している。
9.夜間不意に離床してしまう利用者に気づき、安全を確認したうえで居室へ誘導する時間を計上している。

② ロボット機器等導入後の業務時間内訳

業務内容		A.業務従事者数	発生件数		D. 1件当たりの 平均処理時間(分)	人時間 E (A×C×D)	1人あたり 業務時間 (G×D/A)
			B.ひと月当たり	C.年間発生件数(B×12)			
直接介護	1 移動・移乗・体位変換			0 件		0 人時間	#DIV/0!
	2 排泄介助・支援			0 件		0 人時間	#DIV/0!
	3 生活自立支援(※1)			0 件		0 人時間	#DIV/0!
	4 行動上の問題への対応(※2)			0 件		0 人時間	#DIV/0!
	5 その他の直接介護			0 件		0 人時間	#DIV/0!
間接業務	6 巡回・移動	2 人	243 件	2,916 件	14 分	1,361 人時間	340 時間
	7 記録・文書作成・連絡調整等(※3)			0 件		0 人時間	#DIV/0!
	8 見守り機器の使用・確認			0 件		0 人時間	#DIV/0!
	9 その他の間接業務	2 人	2,190 件	26,280 件	5 分	4,380 人時間	1,095 時間
			2,433 件	29,196 件	19 分	5,741 人時間	#DIV/0!

以下の※3及び※4については、ロボット機器等導入後の実際の業務状況に即した算出をお願いします。

<※3>B. ひと月当たり発生件数の算出方法

6.夜間の巡回回数(1日当たり)8回 × 365日 ÷ 12ヶ月 = 243.3…件
9.夜間不意に離床してしまう利用者の人数(1日当たり)9人 × 巡回の回数8回 × 365日 ÷ 12ヶ月 = 2,190件

<※4>D. 1件当たりの平均処理時間の算出方法

6.夜間の巡回(1回分)に係る所要時間。
※基本的な巡回業務の時間・質の変化はない。
(機器の導入により、巡回時の転落事故発見は減少し、巡回時以外での転落等への早期対応が可能となった。)
9.ヒヤリハットの視点から転倒のリスクのある利用者への見守りが強化され、離床センサーにより早期発見が可能となった。

年間業務時間数想定削減率(%)

13.2%

(3)削減率が20%を超える場合は、その要因について記載すること。

(4)ロボット機器等の導入により得られた効果

夜間、巡回時以外での利用者把握が可能となり、事故の予防、早期発見が可能となった。
低床ベッドであることにより、転落の際のリスク軽減と、ベッド柵使用による身体拘束の排除につながった。

(5)今後の課題

センサーの正常可動ではあるが、危険性のない動きにも反応してしまう為、設定の調整が難しい。

(6)気づき等について

業務時間そのものの短縮には繋がりにくいですが、リスクマネジメントとし活用していく事で予防に繋がる。

(7)費用面での効果(ロボット機器等の導入による費用の削減の有無を必ず選択すること。)

ロボット機器等の導入による費用の削減	有
--------------------	---

ロボット機器等の導入による費用の削減が「有」の場合、以下を回答すること。

削減額(円／月)	
職員の質上げ等への充当	
その他職場環境の改善への充当(※1)	
サービスの質の向上に係る取組への充当(※2)	有

(※1)その他職場環境の改善の具体的な内容について記載すること。

(※2)サービスの質の向上に係る取組の具体的な内容について記載すること。

機器導入により、業務負担が軽減し、記録や支援に費やす時間が確保された。